



齊藤尚男

コンサルティング・カウンセラー

tsaito@wigin.com

教育

京都大学大学院 法学研究科 博士 (法学)

スウェーデン・ヨーテボリ大学 ディプロマ (知的財産権)

同志社大学 法学部 卒業

米国バークリー音楽大学
Bass Professional ディプロマ

資格

日本弁理士登録
米国カリフォルニア州弁護士登録

裁判所登録

米国連邦地方裁判所
(カリフォルニア州中央部) 登録

賞・教育など

世界的な知財戦略家として「IAM Strategy 300」に継続して選出
2025年には「IAM Strategy 300 Global Leaders」にも名を連ねています。

教育・執筆活動

大学講師: 2016年より関西学院大学にて講師を務め、知的財産ライセンスおよび国際契約に関する講義を担当。法理とビジネス実務の架け橋となる教育活動に注力しています。

齊藤 尚男 (Takao Saito)

コンサルティング・カウンセラー (Consulting Counsel)
日本弁理士、米国カリフォルニア州弁護士

【概略】

齊藤尚男は、ウィギン&ダナLLPのコンサルティング・カウンセラーであり、齊藤国際知財事務所、Squall IP合同会社、およびサンコーアセットマネジメント株式会社の代表を務めています。パナソニック株式会社での18年以上の実務経験を背景に、高額な特許ライセンス交渉、知的財産戦略、および複雑な特許侵害訴訟を専門としています。

+4

半導体、民生用電子機器、医療機器などのハイテク分野において、特許ポートフォリオの管理やマネタイゼーション、クロスボーダーM&Aや戦略的技術提携における知財デューデリジェンスなど、多岐にわたる戦略的助言を提供しています。

【主な実績】

日米クロスボーダー特許紛争における戦略的支援と和解の実現 (2025年 - 2026年): 自動車部品メーカーと通信半導体メーカー間における、日本(大阪地裁、特許庁)および米国(カリフォルニア州中央地区連邦地裁)の双方にまたがる大規模な特許侵害訴訟、仮処分、および特許無効審判においてクライアントを代理。米国連邦法 28 U.S.C. § 1782 に基づく証拠開示手続の活用を含めた多角的な戦略により、全案件の解決を含む有利な条件での和解へと導きました。

Therasense, Inc. v. Becton, Dickinson & Co. (649 F.3d 1276): 訴訟の傍らライセンス交渉を主導。CAFC 大法廷において、米国特許庁の判断基準を覆す歴史的な判決(不衡平行為の立証基準)の礎を築きました。

大規模事業譲渡・JV 設立に伴う知財コンサルティング: 大手エレクトロニクスメーカーの半導体事業譲渡における約 300 件のライセンス契約精査や、イスラエルの半導体ファウンドリ企業との多額の JV 契約更新における知財デューデリジェンスおよびライセンス体系の再構築を主導。

NPE(非事業主体)との紛争解決: 複数の NPE 訴訟において、有利なクレーム解釈(Claim Construction)の構築やロイヤリティ算出に関する有効な反論により、略式判決や有利な和解を獲得。また、調停においてもリードネゴシエーターとして有利な和解を実現。

著書・論文: 知的財産法に関する広範な判
ており、近著に『ライセンス亜種と知財イ
ューデリジェンスによる特許価値評価』
2024年)があるほか、主要な法律雑誌へ
数。

その他の活動・関心

音楽・芸術: 法律家としてのキャリアに
加え、ジャズベース・コントラバス奏者
としても活動。芸術への深い造詣が、ビ
ジネスにおける複雑な課題解決に対する
創造的な視点と、多角的なアプローチを
支えています。

知財仲裁: 半導体、電子機器、医療機器の分野における3件の特許仲裁を担当し、い
ずれも有利な結果を得ました。

【出版物・講義】

- ・「ライセンス亜種と知財信託—知財デューデリジェンスにおける特許の価値評価
—」成文堂 (2024年)
- ・「日米における知財信託の研究—特許権信託を中心として—」
知財ふりむ 260巻5月号—23頁 (2024年)
- ・「『ライセンス亜種』とウェブ3.0時代の知的財産—知的財産法と契約法の交錯
の中で—」京都大学 博士論文 甲第24368号 (2023年)
- ・「知的財産権における Standstill (時効完成猶予の合意) —債権法改正を契機に
—」Law & Technology 91号 (2021年) 58-64頁
- ・IP Strategy for New Technology Era 講演・パネル討議
EU-Japan Technology Transfer Helpdesk (2019年)
- ・「特許権譲渡における価値評価—知財デューデリジェンスをとおしてみる特許権
の価値—」パテント 72巻2号 (2019年) 49-55頁
- ・「発生的ライセンス (“Springing License”) の研究—特許流通に平和をもたらす
か—」Law & Technology 78号 (2018年) 33-38頁
- ・「知財商業化入門—紙の公報が商品に変わるとき—」パテント 70巻7号 (2017年)
40-53頁
- ・「LINE スタンプの法的保護—クリエイターが考えるビジネスプランに資するため
に—」パテント 69巻3号 (2016年) 95-106頁
- ・「米国特許判例に基づく特許権譲渡契約の留意点—適法な特許権譲渡と当事者適
格の検討を中心に—」知財管理 65巻7号 (2015年) 873-887頁
- ・「特許法における『権利不主張』をめぐって—権利不主張の法的性質と当然対抗
制度について—」知財管理 64巻6号 (2014年) 916-935頁